

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394700039
事業所名	グループホーム いわくらの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 周辺道路の美化活動「アダプトプログラム」に、「のんびり」の旗を掲げて事業所のアピールをしながら、入居者と一緒に毎年参加をしている。地域の喫茶店の利用や盆踊りへの参加、文化祭に作品の展示など地域の活動に継続して参加している。日々の散歩や買い物に出かけ、近隣の人と触れ合う機会を大切にしている。また、地域行事のポスターを掲示板に張ったり、事業所の避難訓練のお知らせを近所にポスティングをしたりして情報の広報も行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、民生委員、区長、地域包括支援センターや市職員が出席して年6回開催し、年度初めには行動指針の内容を具体的に説明をしている。行事や研修報告、提案事項などを協議したり、法改正や高齢者虐待などのテーマで勉強会などもしている。協議事項は、カンファレンスで検討して運営に活かしている。議事録を家族に郵送し、良好な反響を得ている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 入居者と一緒に更新手続きに出向いたり、推進会議資料などの配布や相談事項など行政担当者と情報交換をしたり、指導や助言を得ている。 社会福祉協議会主催の研修ではグループホームにおける認知症のケアについて話をしたり、介護相談員の訪問時にケアを通して情報交換などをして協力関係を深めるようにしている。地域や団体と連携し、認知症理解の講話などの講師も受ける心づもりを保有している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日常の会話やケアの中で把握したり、運営推進会議や行事の後に感想を聞いたりしている。家族からは面会や行事の時に意見や要望を聞き、運営に反映させている。必要に応じてアンケートを行い、意見を集約して運営に反映させている。職員のコメントを記載したホーム便りを個々に発行し、家族に安心と信頼感を届けている。また、よりあたたかなケアが伝わるように職員で検討してパンフレットを刷新し、情報の提供や広報にも努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	